

## モニタリング結果報告書

施設 神奈川県ライトセンター

指定管理者 日本赤十字社

施設所管課 障害福祉課

(平成23年度 上半期)

## 管理運営状況総括

今期の指定管理者の管理運営状況(1～9の結果を踏まえ、判定してください)

B

A：提案を上回る取組みを実施し、極めて良好な管理運営状況である。

B：提案どおりに取組みを実施し、良好な管理運営状況である。

C：提案どおりに取組みを実施したが、管理運営状況については、一部工夫が必要な面がある。

D：提案どおりに取組みを実施していない。また、提案どおりに取組みを実施したが、管理運営状況については、抜本的な改善が必要である。

## 1 月例報告書によるモニタリングの概況

報告月	受理日	確認通知日	備考(確認事項等)
4月	5月9日	5月17日	月報・法人への聞き取りにより、利用者対応・施設の維持管理とも適切に実施している旨を確認。
5月	6月9日	6月15日	同上
6月	7月8日	7月15日	同上
7月	8月8日	8月15日	同上
8月	9月8日	9月15日	同上
9月	10月7日	10月14日	同上

## 2 指定管理者が提案した取組み等の実施状況

指定管理者の選定に際して、サービスの向上や利用促進の観点から提案された各取組み等について、提案内容の要旨とそれに対応する形で実績又は今後の見込みを記載する。

## &lt; 提案内容の概要 &gt;

施設の効用を高めるため、視覚障害者に対する福祉の向上の観点から、具体的な事業を提案した。

- ①視覚障害者の読書環境をなお一層改善し、個人利用を積極的に推進するための情報提供事業を実施
- ②視覚障害者の生活に必要なスキルを身につけるための指導訓練事業を実施
- ③視覚障害者の多様化するニーズに対応するため、ボランティア育成事業を実施
- ④視覚障害者のスポーツを促進し、スポーツ施設の有効利用を図るためにスポーツ振興事業を実施
- ⑤視覚障害者に対する理解を促進するための普及啓発事業を実施

<実施状況>

- ① 4月～9月 情報提供事業を実施【副音声付きDVD映画体験会（毎月開催）】
- ② 4月～9月 指導訓練事業を実施
- ③ 4月～9月 ボランティア育成事業を実施【ボランティア養成講座及び技術研修の実施】
- ④ 4月～9月 スポーツ教室を実施
- ⑤ 4月～9月 普及啓発事業を実施【福祉教室（33回、1,914人参加）】

3 収支状況（単位：千円）注：千円未満を切捨てているため、合計は一致しません。

	収 入 額				支出額	収支差額
	収入合計	指定管理料	利用料金	その他収入		
年間予算額 今期 (前期)	314,746 (353,445)	282,746 (353,445)	0	32,000 (0)	314,746 (339,096)	0 (14,349)
上(下)半 期予算額	157,384	141,384	0	16,000	157,384	0
4月	34,934	34,934	0	0	13,755	21,179
5月	21,289	21,289	0	0	21,832	△543
6月	37,294	21,294	0	16,000	38,776	△1,482
7月	21,289	21,289	0	0	22,776	△1,487
8月	21,289	21,289	0	0	22,770	△1,481
9月	21,289	21,289	0	0	24,538	△3,249
今年度 半期計	157,384	141,384	0	16,000	144,447	12,937
前年度 同期計	168,818	168,818	0	0	160,359	8,459

- 1 指定管理者の収入を記載する（県の収入である「使用料」は含まない）。  
 2 「その他収入」は、都市公園の駐車場収入、雑収入、寄付金収入など指定管理料と利用料金以外のすべての収入を記載する。

収支状況に関する意見等

- ①年間予算額における収支差額が0でない場合は、その理由を記載する。  
 ②今年度半期計欄の収支差額が、収入合計又は支出額のうち低い方の額の1割以上プラス又はマイナスとなっている場合は、その理由を分析し詳細に記載するとともに、必要な場合は、対応策も併せて記載する。また、収支差額に1割以上プラスが生じた主な理由が、人件費の削減である場合は、年度協定における人員配置計画と比較し、合理性が認められるか否かを記載する。  
 ③今年度半期計における収入額又は支出額が前年度対比30%以上プラス又は、マイナスとなっている場合は、理由を分析し、詳細に記載する。

<意見等>

- ①～③該当なし

<参考>

本施設について県が支出した（する）修繕費等

20万円以上の修繕費等については、県が支出することと基本協定で定めている。施設の状態をよりの確に把握するため、県が支出した修繕費等についても参考に記載している。

- 1 県が支出した施設の修繕費等の金額及び工事内容を記載する。
- 2 「金額」欄は、半期ごとの総額を記載し、「工事箇所・内容」欄には、主な工事とその金額をカッコ書きで記載する。

（単位：千円）※千円未満は切り上げしています。

	金額	工事箇所・内容
上半期	0千円	
下半期（見込）	6,008千円	高圧電気設備修繕（1,025千円） プール室温度指示調節計交換（660千円） プール更衣室・見学室壁塗装、シャワーブース交換（968千円） テラス防水改修工事（753千円） 高圧責任分解点開閉器更新工事、高圧ケーブル更新工事（1,916千円） 他3件
総額	6,008千円	

（今期に行った資本的な収入及び支出等の状況）

→該当なし

	内容	金額(千円)
収入の状況		
支出の状況		
積立等の状況		(期首)
		(期末)

収入の状況：定期預金の取り崩し、借入れによる収入があった場合等は、その旨を必ず記載する。

支出の状況：車両の購入、施設の増改築、また定期預金の積み立てを支出に含めた場合等は、その内容を必ず記載する。

積立等の状況：積立・借入れ等がある場合は、その内容（施設の増改築のための積立・借入れ、定期預金等）、当該期首及び期末の金額を必ず記載する。

#### 4 利用状況

	利用者数		前年同月利用者数		前年対比増減率	
	図書貸出数	施設利用	図書貸出数	施設利用	図書貸出数	施設利用
4月	3,773人	3,748人	4,021人	4,369人	△6.2%	△14.2%
5月	4,096人	3,839人	3,813人	4,059人	7.4%	△5.4%
6月	4,244人	4,688人	3,796人	5,170人	11.8%	△9.3%
7月	4,273人	4,076人	4,015人	4,483人	6.4%	△9.1%
8月	4,137人	4,128人	3,761人	4,257人	10.0%	△3.0%
9月	3,775人	3,817人	4,153人	4,202人	△9.1%	△9.2%

	目標利用者数	利用者数		前年同月利用者数		目標対比増減率	前年対比増減率	
		図書貸出数	施設利用	図書貸出数	施設利用		図書貸出数	施設利用
今年度 上半期計	人	24,298 人	24,296 人	23,559 人	26,540 人		3.1%	△8.5%
今年度 下半期計	人							

#### 利用状況に関する意見等

- ①今年度上（下）半期計の前年対比増減率が、1割以上プラス又はマイナスとなっている場合は、その理由及び対応策を分析し記載する。（特に、理由の記載にあたっては、各月の状況を分析し、わかりやすく具体的に記載する。）
- ②目標利用者数を下回った場合は、その理由を記載する。  
なお、目標利用者数を定めていない場合は、未記入もやむを得ないが、次回以降は記入する。

#### <意見等>

- ① 施設利用者数については、東日本大震災に伴う利用者の安全確保や夏場の節電対策を含む電力節減のため、プール等の体育施設を一部、利用中止・利用時間の短縮を行っていたため、前年対比では減となっている。特に4月の減少率が高くなっているのは、3月15日から4月17日まで、プールの利用を中止していたため。
- ② 該当なし

## 5 苦情・要望等の状況

受付件数（うち施設所管課受付分）

報告月	口頭		文書			合計
	対面	電話	手紙	メール	アンケート	
4月	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)
5月	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)
6月	0 (0)	1 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	1 (0)
7月	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)
8月	0 (0)	1 (0)	1 (0)	0 (0)	0 (0)	2 (0)
9月	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)
合計	0 (0)	2 (0)	1 (0)	0 (0)	0 (0)	3 (0)

## 6 特筆すべき苦情・要望等及び対応状況

類似の苦情や要望が多く寄せられたもの、苦情や要望をもとに対応した取組みが利用者に評価されたもの、苦情や要望のうち対応したいと考えるが、諸般の事情により対応できないものなど、特に注意すべき場合に記載する。

→該当なし

分野	概要	対応状況
施設・設備	・	
職員対応	・	
事業内容	・	
その他	・	

## 7 事故や不祥事等の発生状況

利用者や職員が死傷した場合、業務の実施において法令違反等による指導や処分を受けた場合及び個人情報や公金の管理等において不適切な取扱い等があった場合は、その概要と対応状況を記載する。なお、利用者の死亡事故や個人情報の流出等、重大な事故や不祥事が発生した場合は、県庁改革課に任意の様式により速やかに報告書を提出する。

→該当なし

発生日	概要・対応状況等
月 日	
月 日	

## 8 随時モニタリングの実施状況

〔 事故や不祥事の発生等に伴い、施設所管課が随時モニタリングを実施した場合は、調査内容や結果を記載する。 〕

→該当なし

実施日	対応者等	経緯・調査内容	調査結果
月 日			
月 日			
月 日			

## 9 上（下）半期の所見等

〔 1～8の各項目の状況等を踏まえ、指定管理業務をより効果的・効率的に推進する観点から、反省点や改善策等を記載する。 〕

指定管理者	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 8月に行った、小学校教職員対象の「視覚障害者福祉教室（全3回）」は過去最高の91名が参加した。</li> <li>・ 視覚障害者のパソコン使用を支える存在として、ライトセンター内でも「パソコンサポートボランティア」の活動を行っているが、活動日の水曜日と日曜日は定員を超える状況が続いている。需要から考えると、ボランティア数を増やす必要があるため、前年度まで、年1回であった「パソコンサポートボランティア養成講座」の回数を増加した。今後も時代の求めに応じたボランティア養成を心がけていきたい。</li> </ul>
施設所管課	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 年度協定の事業計画に基づき、着実に事業が行われている。</li> <li>・ 「パソコンサポートボランティア養成講座」の回数の増加など、利用者の需要に応じた施設運営・管理が行われている。</li> <li>・ 「福祉教室」の参加人数の増加など、従来から行っている教室等においても、参加者数を増加させている。</li> <li>・ 今後も新たに講座や教室を企画するなど、利用者サービスの向上に努めてもらいたい。</li> <li>・ 施設の管理についても現在に引き続き良好に努めてもらいたい。</li> </ul>